

神奈川歯科大学同窓会の新企画 “クリニカル・コース”を開催して

本部同窓会学術委員会において新たに“クリニカル・コース”の企画が提案されたのは、平成13年の暮頃であった。その後、学術委員会で数回検討され、明日からの臨床にすぐに役に立ち、しかも実習がメインの“クリニカル・コース”がここに企画される運びとなった。トップバッターとして、全国で引っ張りだこの土屋和子先生（歯科衛生士、フリーランスとして活躍）にこの企画の講師を依頼し、快諾を得ることができた。

コースのテーマは「ランクアップ・デブライドメントーハイジニストによる歯周治療、より効果的なデブライドメントを行うためにー」で、講義1日、実習2日の計3日から構成されている。案内は会報を通して神奈川歯科大学同窓会会員に通知され、また各種歯科雑誌、新聞等にも掲載したところ、全国各地から定員をはるかに上回る申込が殺到したため、急遽第2回“クリニカル・コース”の開催を余儀なくされた。実習については追加コースとして第3回の実習のみ2日間コース（9月、10月開催）を現在設定している。

第1回の講義は本年1月26日（日）に横浜研修センター（7F大会議室）で行われた。講演は基本的な事柄から、土屋先生が開発した歯ブラシを使ってのユニークなブラッシング方法の紹介、さらには歯周病と



横浜研修センターでのクリニカルコース。土屋和子先生による講義（平成15年1月）

全身疾患との関りや咬合状態の見方、など高度なレベルにまで話しが及んだ。受講者全員が理解できるようにと優しく分かりやすく説明していただいたが、衛生士のみならず歯科医にとってもすぐに臨床に役立つほど内容の濃い話であった。さすがに、全国の臨床の現場をリードする歯科衛生士であることを実感したのは私だけではなかったであろう。2月、3月には実習コースが神奈川歯科大学新実習棟で開催された。

第2回目5月の講義は横浜の県歯科医師会館（地下1階大会議室）で開催され、6、7月の実習は第1回同様、神奈川歯科大学新実習棟で開催された。第1回同様に参加者には満足していただけるコースが開催できたことに充実感を味わっているところである。

最後に、アンケート調査から受講者の感

想を2、3紹介したい。

「内容はレベルが高く大変参考になる事が多くて、有意義なセミナーでした。土屋先生の人柄がとても気さくで、質問しやすい雰囲気だったので、いろいろとお話ができ勉強になりました。」「講習会には月1回～2回は行くようにしているのですが、土屋先生の授業は衛生士学校では教えてくれない臨床に必要なことがしっかりと学べたので良かったです。他に土屋先生の授業があったら参加したいです。」「今回の実習は少人数でゆったりと学ぶことができてよ

かったと思います。土屋先生の講義も分かりやすく、今後の臨床で十分に生かしていけるよう、また明日から頑張りたいと思いました。」「久しぶりに勉強らしい勉強が出来て大変有意義でした。機会がありましたら又参加したいと思います。」「実習を受ける人数が少なかったせいか、とても土屋さんが近く感じられました。質問もしやすかったし、たくさんの人数でただ講義をうけるよりも、技術・知識ともに身になったような気がします。」

(秋本 進、玉置勝司)

退職教授謝恩・教授就任祝賀パーティー

総会終了後、さいか屋横須賀南館にて退職教授謝恩・教授就任祝賀パーティーが開催された。富川理事の司会、若森副会長の開会の辞で始まり、退任・新任教授の紹介がされた。藤田会長の挨拶、続いてゲストの湘南短期大学・高橋和人学長の挨拶は、会社組織に準えた大学の現状、将来をユーモアを交えて述べた。奥主監事の乾杯の発声で宴が始った。しばらく歓談した後新藤潤一教授（口腔外科）、中野隆正教授（ドイツ語）、池田正一客員教授（神奈川県子ども医療センター

歯科部長）、小野塚実教授（口腔生理）、今井裕教授（独協医科大学口腔外科）がそれぞれ挨拶をし、思い出話や現況を語った。特に印象に残ったのは、同窓である今井教授が「私は外に出て、常に神奈川県歯科大学の卒業生である事を肝に銘じ、神奈川県歯科大学の看板を背負っているつもりで行動し頑張っている」と述べ、会場からも大きな拍手がわいた。その後、相原副会長の閉会の辞で、盛況だったパーティーも終了した。